

令和4年4月

## 市長定例記者会見次第

1. 日 時：令和4年4月27日（水） 14：00～（約1時間）

2. 場 所：第一本庁舎4階 403会議室

3. 出席者：市長、関係局長ほか

### 4. 案 件

（1）新型コロナワクチン接種集中月間のキービジュアル完成！（資料番号1）

（2）SMS（ショートメッセージサービス）を活用した新型コロナウイルスの感染者に対する連絡体制について（資料番号2）

（3）金沢市と金沢エナジー株式会社との連携協力に関する協定の締結について（資料番号3）

（4）オミクロン株が主流である間の当該株の特徴を踏まえた金沢市立学校の対応について（資料番号4）

資料番号

1

令和4年4月27日  
新型コロナワクチン接種推進室  
TEL 220-2058

## 市長定例記者会見資料

### 新型コロナワクチン接種集中月間のキービジュアル完成！

本市では、5月を「ワクチン接種集中月間」と位置づけ、独自のキャンペーンを展開します。この度、金沢美術工芸大学と連携し制作していたキャンペーンのためのキービジュアルが完成しましたので公表します。



#### ■制作チームからのメッセージ

若者層に早期のワクチン接種を促すことを目的に、金沢の若者からのメッセージを届けるというコンセプトで、金沢美術工芸大学の学生さんに出演していただきました。

できるだけ多くの方にワクチンを接種してほしいという願いを込めて、「ワクチン打とうぜ！」と若者らしくストレートに呼びかけます。ワクチン接種の必要性を伝えつつも、堅苦しくなく、気難しくなく、理屈より素直な気持ちを大切に伝えることで、接種に繋げたいと考えました。

#### 1 キービジュアルを用いた動画・ポスターによるPR

- (1) 動画
  - ・市公式サイトから配信
  - ・市役所前、武蔵、香林坊、片町の大型ビジョンで放映
- (2) ポスター
  - ・市施設、金沢駅構内、市内路線バス内等に掲示
  - ・金沢市周辺の大学・専門学校等に送付
  - ・市公式サイトよりポスター画像をダウンロードして印刷も可能

※ このほか、新聞やラジオでも広報する予定

#### 2 その他

キャンペーン期間中、市長が接種を行い、早期接種を呼びかけます。

日時 5月6日（金）14:00～／場所 金沢市役所第二本庁舎 集団接種会場

資料番号
2

令和4年4月27日
地域保健課
電話 234-5102
FAX 234-5104

## 市長定例記者会見資料

# SMS（ショートメッセージサービス）を活用した 新型コロナウイルスの感染者に対する連絡体制について

新型コロナウイルス感染症の感染者に対する保健所からの連絡について、SMS（ショートメッセージサービス）を活用し、速やかな連絡体制を構築します。

## 1 概要

保健所では、医療機関からの発生届に基づき、感染者に対して順次電話連絡を行っていますが、感染者の増加に伴い、電話連絡に数日を要するケースが多くなっています。

このため、発生届の受理後、SMSを活用して、第一報として感染者に対し療養の期間や留意点等を案内することにより、保健所からの連絡がないことへの不安を解消します。併せて、この後に改めて行う保健所からの電話による説明時間を短縮し、保健所業務の効率化を図ります。

## 2 運用方法

- ① 保健所が受理した発生届に記載のある携帯電話番号に対して、一斉にSMSを送信
- ② 感染者は、受信したSMSに記載されたアドレスから療養案内ホームページにアクセスし、療養期間や療養上の留意点などを確認
- ③ 保健所から改めて感染者に電話連絡を行い、症状等を確認した上で療養先を決定

※ 発生届に記載された症状等により、緊急性があると判断した感染者に対しては、従来どおり直接電話をする。

※ 発生届に携帯電話番号の記載のない感染者については、従来どおり固定電話へ連絡を行う。

## 3 運用開始日

令和4年4月28日（木）

## 市長定例記者会見資料

**金沢市と金沢エナジー株式会社との連携協力に関する協定の締結について****1. 概要**

本市と金沢エナジー株式会社は、相互の緊密な連携と協力により、地域が抱える課題やニーズに対応し、地域社会の持続的な発展に寄与することを目的に、協定を締結する。

⇒ 金沢市ガス事業・発電事業譲渡契約に基づく協定

**2. 協定締結式**

- (1) 日 時 令和4年5月13日（金） 16時～  
(2) 場 所 市長応接室  
(3) 締結者 金沢エナジー(株) 代表取締役社長 高井 郁大  
金沢市長 村山 卓

**3. 連携・協力事項（協定内容）**

- (1) 地域の環境・エネルギーに関すること  
(2) 地域の安全・安心、災害対策に関すること  
(3) 地域の生活・文化に関すること  
(4) その他、持続可能な社会を実現するための施策に関すること

**4. 連携・協力事項に基づく今後の主な取組（予定）**

- (1) ゼロカーボンシティの実現（電力の地産地消の推進等）  
(2) 災害時等の連携・協力（災害時及び保安連携協定締結による各種情報の共有等）  
(3) スポーツ・文化活動への支援（金沢マラソン等地域イベントへの協賛等）  
(4) 市の施策と連携した電気料金メニューの創設（子育て世帯応援等）など

※具体的な取組の内容及び実施については、今後、取組ごとに協議・検討を行う

## 市長定例記者会見資料

**オミクロン株が主流である間の当該株の特徴を踏まえた  
金沢市立学校の対応について**

オミクロン株が主流である間の当該株の特徴を踏まえた学校に関する対応について、国から留意事項が示されるとともに、石川県内の保健所における学校等への疫学調査の対応を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と児童生徒の学びを保障する観点から、金沢市立学校においては以下のとおり対応することとします。

**1. 国からの留意事項及び石川県教育委員会からの連絡内容**

- ・オミクロン株は感染・伝播性が高く、従来株と比べて潜伏期間と発症間隔が短い
- ・学校では基本的な感染対策の徹底により、同一世帯内と比べて濃厚接触者が感染している確率は必ずしも高くない
- ・石川県内の保健所の対応として、全ての校種(小、中、高等学校等)において、濃厚接触者等の特定・行動制限を行わない(クラスター発生時等除く)
- ・金沢市立学校の感染状況については、感染拡大要因の存在が疑われる際には、金沢市保健所による調査・助言のもとに対応

**2. 金沢市立学校の休業措置について**

原則として、

**(1)学級閉鎖**

同一学級において連續する4日間(※1)で5人以上(※2)の感染者が判明した場合、学級閉鎖を3日間実施

※1 国立感染症研究所の報告で、オミクロン株の発症間隔の中央値が約3日であるため

※2 同時に5人以上の集団感染が発生した場合等に、早期に保健所による疫学調査が行われ、一定の感染拡大防止が期待されることによる

**(2)学年閉鎖**

同一学年で半数以上の学級が閉鎖となるような場合、学年閉鎖を3日間実施

**(3)臨時休業(学校全体の閉鎖)**

学年閉鎖の状況を踏まえ、金沢市保健所と協議のうえ判断する

**3. 学校における感染症対策について****(1)授業について**

- ・国の衛生管理マニュアル・本市ガイドライン及び各通知等を遵守し、引き続き万全を期す

**(2)学校行事、校外活動について**

- ・各学校の実情に応じて慎重に検討・判断し、実施する場合は感染対策を徹底する